

京都創生

KYOTO SOUSEI

第7号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

【特集1】11月1日は古典の日 ～古典に親しみ、日本の心を次の世代に～

平成20年11月1日、「源氏物語千年紀記念式典」での「古典の日」宣言をきっかけに、「古典の日」の法制化に向けて、京都市、京都府、宇治市、京都商工会議所などオール京都で、「古典の日」の定着に向けた取組とともに国に要望を行ってきました。

長年の取組の結果、11万人にのぼる署名など全国からの幅広い支援も得て、11月1日を「古典の日」と定める「古典の日に関する法律」が、議員立法により平成24年8月29日に成立し、9月5日に公布・施行されました。

これを契機に、歴史都市・京都から、市民ぐるみで古典の素晴らしさに親しみ、これを世界に発信するとともに、国に対し、若い世代が古典に親しむ機運を醸成し、次世代に引き継いでいくための支援策の一層の拡充を求めています。



本年11月1日に開催された「古典の日推進フォーラム」

■これまでの取組の経緯

- 平成20年度 源氏物語千年紀事業記念式典において、『古典の日』宣言が行われる。(11月1日)
*源氏物語の存在が文献上確認できるもっとも古い日付が寛弘5(1008)年11月1日であることに因んでいる。
- 平成21年度 「古典の日推進委員会」が設置される。以降、毎年11月1日に開催する「古典の日推進フォーラム」をはじめ、『古典の日』定着に向けた取組が推進される。
- 平成22年度 『古典の日』法制化を求める署名活動が開始される。
※平成24年6月末までに合計110,080件の署名が集まる。
- 平成23年度 それまでの要望活動を受け、超党派の国会議員による『「古典の日」推進議員連盟』が設立される。(平成24年3月29日)
- 平成24年度 「古典の日に関する法律」が国会の全会一致で成立(8月29日)し、公布・施行(9月5日)された。

【特集2】「文化庁 関西元気文化圏推進・連携支援室」の 設置期限延長が、機能を強化したうえで実現する！

「文化庁 関西元気文化圏推進・連携支援室」は、関西地域の地方自治体等の相談窓口や、関係団体との連絡等を目的に、平成19年1月からの5年間を目途に、京都国立博物館内に設置されました。

設置期間の5年が経過することや、文化庁の移転を見据えた機能の充実を求めて、国に対し、文化庁分室の設置を強く要望してきましたが、その結果、平成24年4月以降も、「文化庁 関西元気文化圏推進・連携支援室」が、継続して設置されるとともに、京都芸術センターと連携した事業実施など、機能の充実が図られました。(2年間の延長、場所は京都府庁日本館内に移転)

平成24年6月21日には、新たな取組として、文化庁主催の「アーティスト・イン・レジデンス関連団体との意見交換会」が、近藤文化庁長官の出席のもと、連携施設である京都芸術センターにおいて開催されました。当日は、全国から18の団体が参加(京都からは4団体)し、有意義な意見交換が行われました。



「文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室」開所式

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

シンポジウム 京都創生推進フォーラム

当フォーラムと京都市では、京都創生の実現に向けた市民の皆さんによる自主的な活動を推進するため、シンポジウムを毎年開催しています。

今回のシンポジウムでは、これからも京都が歴史と伝統を大切に受け継ぎながら、今を輝かせ、新たな伝統を創造し続けることで、日本人が誇りに思い、世界中の人々を魅了するまちであり続けるために、私たちができることについて考えました。

日時 平成24年8月8日(水)

会場 金剛能楽堂

第8回目となる今回のシンポジウムでは、定員を上回る御応募をいただき、最終的に抽選となりましたが、当日は、420名の参加者にお集まりいただき、会場は満席となりました。

シンポジウムに先立ち、オープニングでは、金剛流宗家 金剛永謹^{ひさのり}氏に、舞囃子「安宅」を披露いただき、続いて京都創生推進フォーラムの総会を開催し、立石義雄代表、門川大作市長による主催者挨拶、京都創生の取組報告を行いました。



パネルディスカッション 「“伝統”の継承と創造」

(パネリスト)



あまの ふみお
天野 文雄 氏
文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室長、国際高等研究所副所長、大阪大学名誉教授



しもで ゆうたろう
下出 祐太郎 氏
下出蒔絵司所、京都美術工芸大学教授、京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授



すぎもと せつこ
杉本 節子 氏
(公財)奈良屋記念杉本家保存会常務理事兼事務局長、料理研究家、随筆家



こばやし まさひろ
小林 昌廣 氏
情報科学芸術大学院大学教授、京都芸術センター運営委員

シンポジウムでは、「“伝統”の継承と創造」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

パネリストの皆様からは、「能のことをよく『伝統芸能』と言うが、実は“伝統”という言葉はごく最近のもの。能も、昔のもの比べると、テンポや演出など随分違っている。“伝統”とは、決して変わらないものではなく、変わっていく面が多いことを、我々はまだ少し認識したほうが良いのではないか。」(天野氏)、「蒔絵技術は1200年、京都の地で伝わっているが、これからも日本が独自に育んだものづくりとしての知恵や技術を現代生活に活用して未来に継承できる方策を考えていきたい。また、若い人達にこれらを継承し、新たな発想も引き出していきたいと考えている。」(下出氏)、「杉本家住宅は国の重要文化財、庭も京町家の庭として初めて国の名勝に指定された。これは建物とともに暮らしの文化を継承してきたことが評価されたから。杉本家に残る、昔の商家の暮らしぶりを伝える古文書『歳中覚』には、多くの修正が残されている。伝統とは、古いものをそのまま継承していくのではなく、それぞれの時代の進行形が積み重なっていくこと。」(杉本氏)等、歴史と伝統を受け継ぎながら、これからの京都を輝かしていくための貴重なお話をいただきました。

最後に、「継承と創造が別々にあったり、別の作業としてあるのではなく、継承の中には創造が必然的に伴い、創造する部分も、結果として継承されることになり、その二つが車の両輪となることにより、伝統になるのではないか。」(小林氏)と締めくくっていただき、終了となりました。

(写真提供：京都新聞社)

シンポジウムの詳しい内容は、「京都創生推進フォーラム」のホームページにアクセスすればご覧いただくことができます。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

※今回のシンポジウムの様子は、インターネット動画による視聴も可能となっています。

(アドレス <http://www.ustream.tv/user/kyoto-shiminsanka>)

「京都創生推進フォーラム連携支援事業」対象事業決定

当フォーラムでは、会員の皆様と連携し「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた取組の推進や広く「京都創生」への理解と機運の醸成に向けたPRを目的に、「京都創生推進フォーラム連携支援事業」を実施しています。当フォーラム運営委員会による選考の結果、平成24年度は次の4事業を対象事業として選定しました。

対 象 事 業

- 社団法人日本建築家協会 京都地域会 **景観**
建築と子供たち2012 子供たちがつくる「光るタワー」 平成24年8月3日～4日 開催
- 京都駅ビル開発株式会社 **文化**
京都駅ビル開業15周年記念「京都駅ビル薪能」 平成24年9月1日 開催
- 京町家保存会新選組記念館 **文化 観光**
講演会と京都創生学習ウォーク 平成25年1月26日、2月23日 開催
- 嵯峨野保勝会 **景観 観光**
京都・嵯峨鳥居本再創造PJ 平成24年8月～平成25年3月 開催



事 業 紹 介

建築と子供たち2012 子供たちがつくる「光るタワー」 社団法人 日本建築家協会 京都地域会

◆開催日 平成24年8月3日(金)、4日(土) ◆場 所 元立誠小学校、高瀬川(三条山崎橋～元立誠小学校)

企画趣旨 京都タワー、五重の塔やスカイツリーなどを題材にしなが、子供たちにもものづくりの楽しさを知ってもらうことを目的としたワークショップを開催しました。建築の模型製作方法を踏まえつつ、子供たちがそれぞれ自由に自分たちの塔を考え、さらに建築家・学生のボランティアが制作指導にあたることにより、自分で考えものをつくるとは何か、一緒に作る面白さとは何かを伝えられればとの思いで企画しました。



ひとこと タワーというなじみのある題材は、子供たちの創造力をいろんな方向に掻き立てたようです。鯨(なまず)が電力を生み出すタワーや水族館を立体的に積み上げたタワー、中東のドバイのタワーからインスピレーションを受けたカラフルで高いタワーなど、子供たちの個性あふれる作品ができました。

また、これらの作品は高瀬川の川面にならべてライトアップし、道行くたくさんの人に見ていただきました。今後も、次世代を担う京都の子供たちにもものづくりの楽しさを建築家ならではの 방법으로、伝え続けていけたらと思います。

事 業 紹 介

京都駅ビル開業15周年記念「京都駅ビル薪能」

京都駅ビル開発 株式会社

◆開催日 平成24年9月1日(土) ◆場 所 京都駅ビル4階 室町小路広場



企画趣旨 国際文化観光都市「京都」で脈々と生き続ける日本の伝統文化。中でも能は代表的な伝統芸能の一つです。

このたび、京都駅ビルは開業15周年を迎え、広くお客様に京都の伝統文化を身近に感じ、その素晴らしさを知っていただくため、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団による「京都駅ビル薪能」を8年ぶりに開催いたしました。

演目：祝舞「黎明」シテ：片山九郎右衛門
能楽「船弁慶」シテ：片山九郎右衛門

ひとこと 当日は、開演の3時間以上前からお席を確保される方がお見えになり、開演時には1,200名の方がまだかまだかと期待に胸を膨らませておられました。日が沈み舞台が始まると近代的な空間の中に幽玄の世界が広がり、駅ビルならではの新たな世界観が現れました。優雅に、また時に迫力ある舞をご披露いただき、お客様は、本物の能の世界を堪能され、満足のご様子でした。今後も伝統芸能に触れる機会を提供していきたいと思ひます。

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
町家のお火焚き	町家で願いをこめて、紙に書いたものを火に返し土に返す行事	開催中～11/30 11:00～ (所要約1時間半)	西陣くらしの美術館 富田屋 (京都市上京区大宮通一条上ル)	3,150円	要	西陣くらしの美術館 富田屋 (075-432-6701)
宝鏡寺「秋の人形展—雅の遊戯」	宝鏡寺が所蔵する御所ゆかりの人形を一般公開します。	開催中～11/30 10:00～16:00 (15:30受付終了)	宝鏡寺 (京都市上京区寺之内通堀川東入ル百々町547)	600円	不要	宝鏡寺 (075-451-1550)
永観堂 秋の夜間特別拝観	境内の紅葉を中心に月夜レベルの照度で日本庭園の美しさを演出	開催中～12/5 17:30～20:30(受付終了)	永観堂禅林寺 (京都市左京区永観堂町48)	600円	不要	永観堂禅林寺 (075-761-0007)
大覚寺 秋の夜間特別拝観	広大なエリアを幻想的な光で演出。悠久の時を味わっていただけます。	開催中～12/9 17:30～20:30(受付終了)	旧嵯峨御所大覚寺門跡 (京都市右京区嵯峨大沢町4)	500円	不要	旧嵯峨御所大覚寺門跡 (075-871-0071)
平成24年秋季 茶道具取り合せ展—追憶の茶—	蒙古襲来の際を偲んで濃茶席 続き薄茶と懐石の道具を取り合せ	開催中～12/9 10:00～16:30	北村美術館 (京都市上京区 今出川通南一筋目東入)	600円	不要	北村美術館 (075-256-0637)
高台寺塔頭圓得院「秋の特別展」 「秋の夜間特別拝観」	特別展：よみがえる桃山の美。豪 快な石組みの北庭をライトアップ	開催中～12/10 (12/7,8は終日拝観休み) 10:00～21:30(受付終了)	高台寺塔頭圓得院 (京都市 東山区高台寺下河原町530)	500円	不要	圓得院 (075-525-0101)
京都観光写真展	京都の魅力ある観光地や行事・ 史跡等を紹介する写真展	開催中～3/29 9:00～15:00	京都銀行営業店ロビー (約100か店)	無料	不要	京都銀行(075-361-2293)
東福寺塔頭天得院 紅葉をめぐる特別拝観	枯山水庭園の紅葉と敷きつめ られた苔のコントラストを満喫	11/16～12/9 10:00～20:30(受付終了)	東福寺塔頭天得院 (京都市東山区本町15丁目 802 東福寺山内)	500円	不要	東福寺塔頭天得院 (075-561-5239)
光明寺 紅葉の特別入山	もみじ参道の紅葉のトンネル、 敷きもみじ等自然な浄域を満喫	11/17～12/9 9:00～16:00(受付終了)	総本山光明寺(長岡京市栗 生西条の内26-1)	高校生以上 500円	不要	総本山光明寺 (075-955-0002)
宝蔵院 秋の夜間特別拝観	嵐山を借景とした獅子吼の庭 を染める紅と苔をやさしい光 で演出	11/17～12/9 17:30～20:15(受付終了)	天龍寺塔頭宝蔵院 (京都市右京区嵯峨天龍寺 芒ノ馬場町36)	600円	不要	天龍寺塔頭宝蔵院 (075-861-0091)
茂山狂言 笑の収穫祭2012	9年ぶりに復活した小松左京作 「狐と宇宙人」を目玉にした狂言会	11/23 昼の部 13:30～15:30 夜の部 17:00～19:00	先斗町歌舞練場 (京都市中京区先斗町三条下ル)	6,500円	要	KBS京都事業部 (075-431-8300 平日10:00～17:00)
京のまちづくり史セミナー 「文化的景観とまちづくり」 高橋康夫氏(京都大学名誉教授)	京都のまちづくりにおける「文 化的景観」の意義について学 びます。	11/27 18:30～20:30	京都市景観・まちづくりセン ターワークショップルーム (京都市下京区西木屋町通上 ノ口上ル梅湊町83-1 ひと・ まち交流館京都地下1階)	無料	要	(公財)京都市景観まちづくりセンター (075-354-8701)
釈尊成道会 大根だき	釈尊の悟りを得たお祝いと今 年1年の無事に感謝し来年の無 病息災を願います。	12/1 10:00～15:00	妙満寺(京都市左京区岩倉 幡枝町91)	500円	不要	妙満寺 (075-791-7171)
「きもの文化・実演ショー」	着物と帯の結び方・十二単と束 帯の着付・白拍子の舞他(解説付)	12/2 15:00～16:30	京都文化博物館 別館ホール (京都市中京区三条高倉)	無料	不要	NPO法人 衣紋道 雅ゆき (075-254-8883)
京都嵐山花灯路・京都いけばな協会 「いけばなプロムナード」	灯りと花の路沿いに大型花器 によるいけばなを展示	12/8～12/17 終日	京都嵯峨・嵐山地域	無料	不要	京都・花灯路推進協議会事務局 (075-212-8173)
御所の森音楽協会 第52回コンサート	中国琵琶・筑前琵琶・尺八のコ ラポによるディナーコンサート	12/10 18:30～21:00	京都プライトンホテル (京都市上京区新町通中立売)	10,000円	要	御所の森音楽協会 (075-441-8207)
大谷大学生涯学習講座 『平家物語』の人々 —清盛・維盛の生と死—	平家滅亡はいかに描かれたか。 巧みな人物叙述を原文から味 わいます。	平成25年1/11、25、 2/15、22、3/8 18:00～19:30	大谷大学真宗総合学術セン ター響流館3階メディアホール (京都市北区小山上総町)	5,000円	要	大谷大学教育研究支援課 (075-411-8161)
第8回京都市ジュニア オーケストラコンサート	10歳から22歳までの青少年 によるエネルギー溢れる演奏。	平成25年1/27 14:00～16:00	京都コンサートホール 大 ホール(京都市左京区下鴨 半木町1-26)	一般 1,000円 22歳以下 500円	要	京都市、(公財)京都市音楽芸術文化 振興財団 (075-711-2980)
初午大祭	稲荷大神が初めて稲荷山三ヶ峰 にご鎮座されたことに因むお祭り	平成25年2/9 8:00～	伏見稲荷大社(京都市伏見 区深草藪ノ内町68)	無料 (ご祈祷等は 初穂料が必要)	不要	伏見稲荷大社 (075-641-7331)
京都漆器青年会 うるおい漆展2013	若手漆芸家の登竜門。日常使 いの京漆器公募展で販売も行 います。	平成25年 2/27～3/3 10:00～17:00 (最終日は15:00まで)	みやこめっせ(京都市左京 区岡崎成勝寺町9-1)	無料	不要	京都漆器青年会 (075-761-3460)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。
○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

※タイトルは平安時代の名筆をもとに作成いたしました。

発行日 平成24年11月14日

発行 京都創生推進フォーラム(事務局:(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)